



SSS CONSULTANTS

COMPANY PROFILE



本 社

〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル8階

TEL:06-6375-5885 FAX:06-6375-5890

東日本支社

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-27-7 FORECAST 亀戸3階

TEL:03-3638-0380 FAX:03-3638-0381

中日本支社

〒450-6215 愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア15階

TEL:052-265-5566 FAX:052-265-5578

<https://www.sss-consultants.co.jp/>



この国の、明日をつくる。

地域の基盤である社会インフラをお客様とともに考え
よりよい未来へと導きます。

道路や河川や橋梁など、国土において最も重要な社会基盤である社会インフラ。

その計画から設計、施工管理業務までを行うのが私たちの仕事です。

お客様のベストパートナーとして最新・最善のソリューションを提供し、

社会をよりよい未来へと導きます。

代表挨拶

人々の安全と財産を守り、
地域社会へ貢献することが、私たちの使命です

当社がコンサルティングを行う社会インフラは、地域の産業と安全を支える礎となるものです。河川の氾濫、大雨、台風、地震など、さまざまな危険と隣り合わせの中で、私たちは日々生活や仕事を営んでいます。人々の安全と財産をしっかりと守り、地域社会へ貢献することは、当社がコンサルティングをする上での使命だと考えています。そして、その使命を全うするには、優秀な人材が不可欠です。年功序列にとらわれない充実した教育、生産率の向上・労働分配を念頭に置いた計画的な経営を行うことで、社員全員が知識・技術・経験を高めながら、幸福な人生を組み立てられる環境をつくり、高度化・多様化する社会の問題とニーズに対応できる体制を整えています。



代表取締役

北野和孝

経営理念

全社員の生活の安定と向上を求め
人類社会に大きく貢献しつつ
次世代への礎となる

社訓

一流の社会人を目指し
一流の仕事を成し
一流の人生を歩む

行動指針

「社会人として責任を果たしつつ
面白く生きること」
アツと言う間に人生が終えるような
生き方を目指す

クライアントは官公庁。トータルサポートで国家の基盤を支え続ける。

当社のクライアントは官公庁。国や地方自治体などが推進する土木事業及び電気通信事業におけるコンサルティング業務を行っています。当社の強みは「インフラデザイン事業」と「マネジメント推進事業」の2つの事業を擁し、調査段階から企画設計、技術者の派遣まで、公共事業全体をトータルでサポートできること。豊富な知識と最新の技術で、これからも日本の基盤を支え続けます。

インフラ デザイン事業

測量
調査
企画設計
点検

マネジメント 推進事業

行政事務補助
工事監督支援

登 録

(設 立)	1990年(平成2年)10月
(建設コンサルタント)	建01号第5325号
(登録部門)	河川、砂防及び海岸・海洋／港湾及び空港／道路／都市計画及び地方計画／土質及び基礎／鋼構造及びコンクリート／トンネル／施工計画、施工設備及び積算／電気電子
(測 量)	第(6)-25135号

有資格技術者

技術士(総合技術管理部門)／技術士(建設部門)
技術士(電気電子部門)／RCCM／測量士
コンクリート診断士／1級土木施工管理技士
1級造園施工管理技士／1級建設機械施工管理技士
1級管工事施工管理技士／1級建築施工管理技士
1級電気工事施工管理技士／第1種電気工事士ほか

インフラデザイン事業

当社は利便性や安全性、コストパフォーマンス、地域住民の方々のニーズに十分配慮した社会インフラの整備を行っています。

橋 梁



河川や渓谷、道路・鉄道などを跨ぐ橋梁は、生活道路や災害時の緊急輸送路の役割を担う重要な構造物。近年頻発する大地震に備えて、橋梁の耐震化や長寿命化計画への取組みは至上命題です。橋梁部門では新設橋梁の設計・計画をはじめ、既設橋梁老朽化に伴う老朽化した橋梁の撤去・架替え、耐震補強、補修・補強や橋梁拡幅、各種非破壊検査の実施や橋梁点検など、時代と共に変わるニーズに対応した調査や計画、設計を担います。

関連カテゴリー

- 鋼橋、コンクリート橋
- 橋梁の長寿命化計画策定
- 既設橋の耐震
- 耐力力診断
- アセットマネジメント
- 非線形動的応答解析

業務内容

- 新設橋梁設計
- 橋梁補修設計
- 橋梁の長寿命化計画策定
- 既設橋の耐震補強設計
- 橋梁点検 ●旧橋撤去
- 改修・補強設計
- 施工計画 ●架設計画
- 仮設計構造物設計

無電柱化



無電柱化とは、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備による電線類地中化や、表通りから見えないように配線する裏配線などにより道路から電柱をなくす事業のことです。日本ではまだまだ電柱が多く、地震や台風等の災害時、倒れた電柱で道路が通行できなくなり、救助が遅れる恐れがありますが、電線類を地中化することにより、緊急輸送道路の確保や、円滑な消防活動が可能となります。また、地上にはりめぐらされた電線類が地中化で見えなくなるため、街並みの景観向上にもつながります。無電柱化部門では、『道路の防災性向上』『通行空間の安全性の確保』『良好な景観形成』を図る無電柱化の推進のため、調査、計画、設計、維持管理までのトータルでマネジメントを担います。

業務内容

- 無電柱化推進計画策定 ●無電柱化実施計画策定 ●無電柱化基礎調査
- 電線共同溝(概略・予備・詳細・BIM/CIM)設計 ●電線共同溝管理台帳作成
- 電線共同溝維持管理システム構築 ●マニュアル・占用制限・管理規定作成

関連カテゴリー

- 国土強靱化基本計画 ●無電柱化の推進に関する法律 ●無電柱化推進計画
- 電線類地中化 ●低コスト手法 ●合意形成

道 路



道路は、人の移動や物流に不可欠な生活空間、災害時の防犯の役割を担う身近で重要な社会資本。昨今、従来の車中心の行者や自転車の最適な通行空間の確保、持続可能な社会の実現に向けた計画、既存道路の長寿命化対策、ICT化防災・減災対策などの多様なニーズが生まれています。道路計画部門では、新設道路の計画をはじめ、既存ストックの改善策、道路付属物の構造検討などの調査や設計を担います。

関連カテゴリー

- 国土強靱化基本計画
- ユニバーサルデザイン
- インフラ長寿命化計画
- ITS
- 交通円滑化対策

業務内容

- 道路(概略・予備・詳細)設計
- 道路防災設計
- 道路危険箇所対策設計
- 道路交通センサ等調査
- 道路構造物点検

河川砂防



人間が生活していく上で、最も重要な土地や水。その水資源の源となる河川では、近年、相次ぐ台風やゲリラ豪雨により、日本各地に甚大な被害をもたらしています。河川砂防部門では、自然災害から国民の生命・財産・生活を守ることを念頭に、生物・植物などに配慮した多自然型川づくりなどの河川環境整備計画、急傾斜地の崩壊・地すべり・土石流の土砂災害防止対策など、河川及び砂防に関する調査や計画、設計を担います。

関連カテゴリー

- 河川計画 ●ハザードマップ ●落石シミュレーション
- 斜面安定解析 ●多自然川づくり

業務内容

- 築堤護岸設計 ●多自然護岸設計 ●樋門設計
- 急傾斜地崩壊対策設計 ●法面工(予備・詳細)設計
- 落石対策工設計 ●砂防施設設計 ●砂防基礎調査
- 防災点検

保 全



高度経済成長期以降に整備し、建設から50年以上経過するインフラ施設が加速度的に増加し、それに伴い効率的かつ経済的にインフラ施設の維持管理を行うことが求められています。インフラ施設保全部門では、施設管理者と同じ目線でこれらの課題に取り組み、橋梁定期点検、道路附属物点検、舗装点検、日常巡回を通じ、社会の安全・安心に貢献し、AI技術、ドローン技術、点検ロボット等を駆使し、効率的・先進的な調査・計画を担います。

関連カテゴリー

- AI技術 ●ドローン・ロボット技術
- 遠隔臨場 ●非破壊検査
- 航空測量 ●画像解析
- 三次元点群測量

業務内容

- 橋梁定期点検 ●道路構造物点検
- 空港施設調査
- インフラ施設老朽化対策
- 物性調査

電気通信



電気通信は、道路、河川、砂防、公園、上下水道、港湾等施設への電力供給や監視制御等を行う生活に不可欠なインフラストラクチャーであり、時代の変化とともに常に技術革新を続けている分野です。安全な交通の確保、河川氾濫や土砂崩れ、地震等の自然災害対策、鳥害や光害等対策で新技術を活用したシステムの提案を行い、利便性、安全性、経済性を配慮した調査、計画、設計を担います。

関連カテゴリー

- 情報通信ネットワーク ●気象情報収集提供システム
- 交通情報収集提供システム ●防災情報HUB
- 災害情報収集システム ●自然エネルギー有効活用
- ITSスポットサービス ●低酸素技術の活用
- ペーパーレス促進 ●ミラーワールドWeb会議

業務内容

- 道路・トンネル照明設計 ●道路情報設備設計
- CCTV設備設計 ●受変電設備設計
- 自家発電設備設計 ●無停電・直流電源設備設計
- ナイター照明設備設計 ●気象観測装置設計
- 雨量表示盤設備設計 ●監視制御設備設計
- 計装設備設計

Engineering Department

マネジメント推進事業

当社はこれまで、国・地方自治体を主体とする業務を通じて、経験と技術を蓄積してきました。
そのノウハウを活かし、発注者である公的機関へ技術者が出向し事業のサポートを行っています。

行政事務補助業務

発注者が取り扱っている技術資料の整理作成を補助します。
予算要求、事業計画立案に関する資料、地元説明、関係機関等への協議に必要な資料、事業評価に関する資料、調査・計画に関する資料の作成等を行います。

また、発注する工事の積算資料の作成、積算システムへのデータ入力及び調査設計業務に関する技術審査等の補助を行い、発注者を支援します。



工事監督支援業務

国や地方自治体が発注する公共工事を円滑にすすめるために、的確な工事の履行確認や施工業者との協議等ができるように支援をします。

具体的な業務内容としては、工事契約の履行に必要な資料作成、工事目的物の寸法や使用する材料の確認、施工業者から提出される資料と現場状況の照合、地元及び関係機関との協議・調整に必要な資料の作成及び報告等を行います。



Sales

営業

国や地方自治体が発注する調査計画業務、発注者支援業務における提案、見積、入札、受注業務のサポート、発注者との交渉などを行っています。

営業活動…公共事業計画のヒアリング、技術提案、見積
入 札…発注者から要望の確認、社内履行体制等の確認調整、
入札金額の検討、入札書類の作成
受 注…履行業務が円滑に進むよう、社内調整、発注者との関係構築
ヒアリングによる適宜要望の確認と満足度調査、
変更提案および交渉
受 注 後…満足度調査、継続的訪問による次の受注機会創出
技術営業…打合せの同行、現地調査のサポート、
行政事務補助業務、工事監督支援業務のサポート
受注計画…市場調査、入札情報の収集、事業展開への計画立案



社会貢献活動のご紹介

大規模な災害が発生した際、被害を最小限に抑えるためいち早く行動。当社のソリューションをフルに活かして迅速な対策・復旧を行ってきました。

活 動 事 例

- 阪神・淡路大震災 緊急復旧工事実施
- 平成21年台風9号による香川県内の豪雨災害 災害応急対策
- 平成23年台風12号による和歌山県内の豪雨災害（紀伊半島大水害）災害応急対策
- 平成25年台風24号による香川県内の豪雨災害 災害応急対策
- 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）による広島県内の豪雨災害 災害応急対策
- 令和元年台風19号（令和元年東日本台風）による神奈川県内および千葉県内の豪雨災害災害応急対策
- 令和元年台風21号による千葉県内の豪雨災害 災害応急対策



Education System

教 育 制 度

個々の能力を最大限に発揮できるよう
基礎から実践的内容まで「美学」として
学び成長してゆける環境

当社では、活発な新入社員教育や社員の継続教育に取り組んでいます。新入社員に対しては、ビジネスマナーから始まり、専門分野においては、建設コンサルタントの役割、技術の基本となる「測量座標系」「道路」「河川」の基本的な考え方を教育訓練し、学生時代では教えてもらえない「実学」を身に付けて頂きます。社員の継続教育は、資格取得支援、講習会の参加促進、現場見学会の開催、研究発表会の参加支援などに取り組み、全社員の技術向上を支援しています。



実 施 内 容

- 新入社員教育
- 資格取得支援講習（技術士・技術士補）
- 工事現場見学会の開催
- 技術講習会の参加促進
- 社内講習会の開催
- 社内業務発表会の開催
- 建設コンサルタント協会各種分科会委員の参画
- 建設コンサルタント協会主催「研究発表会」参加支援
- 建設コンサルタント他社との技術交流支援